

パレット一体型台はかり SN シリーズ 第三弾 防爆モデルを新発売

耐圧防爆モデル： SN-1200KFP

株式会社エー・アンド・デイ

本社：東京都豊島区東池袋 3 - 23 - 14

代表：執行役員代表取締役 古川 陽

東証1部：7745

(株)エー・アンド・デイ(本社：東京都豊島区 社長：古川 陽)は、昨年より販売を開始したパレット一体型デジタル台はかり SN シリーズの第三弾として、耐圧防爆タイプを新発売します。SN シリーズは計量台にプラスチックパレットを使用し、大型台はかりでありながらも安価で軽いという従来にはない特徴を備えており、その新しいコンセプトが皆様より大変ご好評をいただきました。その一方で、販売開始直後から「防爆版」のご要望を承りました。そうしたご要望にお応えすべく、標準型、防塵・防水型に続き、「耐圧防爆モデル SN-1200KFP」の販売を開始します。

発売開始予定日：2012年12月27日

対象：

- ・ 溶剤、塗料など引火、爆発性のある原材料の管理に
- ・ 4ドラムパレットの計量・管理に最適

Exd BT4(計量部) 労検：第TC19283号
Exd BT5X(表示部) 労検：第C13526号
危険場所 1種 2種で使用可能

計量部



表示部



ケーブル長(計量部から表示部まで)：約5m

主な特徴

高性能 A/D コンバータ： 100 回/秒の高速サンプリング

大型計量台： 4ドラムパレットの計量に最適な 1100(W) × 1100(D)mmの大型計量台

使用目的に合わせた設定：5種類の切出し計量モード(タイプ A)、4種類の選別モード(タイプ B)の設定が可能

コンパレータ表示： 「過量」、「適量」、「不足」の管理に 見やすい2色カラー表示

コードメモリ機能： 100 種類の比較値情報を管理可能

様々なインタフェース： RS-232C、RS-422/485、アナログ出力などのインタフェースを用意(別売品)

| | |
|------------|------------------------------|
| モデル | SN-1200KFP |
| | 耐圧防爆 |
| ひょう量 | 1200kg |
| 最小表示(目量) | 0.5kg |
| 計量台寸法 | 1100(W) × 1100(D) × 295(H)mm |
| 本体質量 | 計量部：約100kg / 表示部：約26kg |
| 標準価格(税込価格) | ¥1,258,000(¥1,320,900) |

AD 株式会社 **エー・アンド・デイ**

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14

TEL 03-5391-6126 FAX 03-5391-6129

<http://www.aandd.co.jp/>

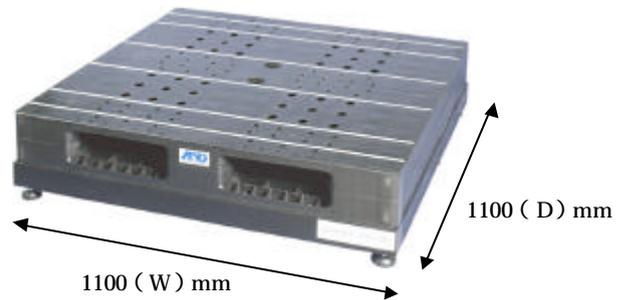
本リリースに関するお問合せ

担当：販売促進部 西塚/西村/関口

製品画像は下記のWEBサイトをご照会ください。

SN-FP <http://www.aandd.co.jp/adhome/whatsnew/2012/sn-fp.jpg>

使用イメージ



- ・計量台にフォーク部分の差込み穴があいているのでフォークリフトでの運搬が可能
- ・4ドラムパレットの計量にぴったりの計量台寸法

防爆とは

石油関連やガス・ガソリン・薬品等の取り扱い場所、化学合成プラントなどで、それらの可燃性物質の蒸気が空気中で空気と混合すると燃発性のガスになります。このガスが電気や火花、または熱などの着火源に触れると、爆発等の事故が起こる可能性があります。そこで、このような危険な場所でも安全に取り扱い作業が出来る様に設計した防爆機器を使用する必要があります。

耐圧防爆構造とは

防爆性能を備えた容器により、容器内部の着火源となる電気機器の爆発が生じてても、容器が内部爆発に耐える強度をもつことで、外部には爆発が及ばないようにした構造のことです。また、容器の接合面の隙間から爆発によって外部へ着火しないことが要求されています。

国際規格 (IEC) に対応 **Ex d IIB T5**

Ex: 国際規格に整合した防爆機器を示す

IIB: 電気機器のグループ

d: 防爆構造の種類 (dは耐圧防爆)

T5: 温度等級を示す

電気機器の分類

現行規格の爆発等級は、国際規格では「グループ」として分類され表記方法が変更されます。

「グループ」は炭抗防爆用を示します。

SN-1200KFP が該当する「グループ」はそれ以外の場所で使用されるものを示します。

グループはさらに対象とされるガスまたは蒸気により、分類されています。

耐圧防爆の電気機器グループの分類

| グループ | ガスまたは蒸気の最大安全すきまの範囲 (単位: mm) |
|------|-----------------------------|
| IIA | 0.9mm以上 |
| IIB | 0.5mm以上～0.9mm未満 |

代表的な爆発性ガス

| グループ | 温度等級 T1～T4 |
|------|---|
| IIA | アセトン、ベンゼン、アンモニア、メタノール、エタン、トルエン、プロパン、メタン、酢酸、エタノール、ブタノール、ブタン、メタクリル酸メチル、ガソリン、ヘキサン、ペンタン、アセトアルデヒド、トリメチルアミン |
| IIB | コークス炉ガス、アクリロニトリル、シアン化水素、シクロプロパン、エチレン、エチレンオキシド、アクリル酸エチル、アクリルアルデヒド、ジエチルエーテル、エチルメチルエーテル、ジエチルエーテル |

温度等級

従来の発火度は、ガスまたは蒸気が発火温度によって分類されていましたが、国際規格では、防爆機器の最高表面温度により分類しており、表記が次のようになります。

| 温度等級 | 電気機器の最高表面温度 |
|------|----------------|
| T1 | 300°C超～450°C以下 |
| T2 | 200°C超～300°C以下 |
| T3 | 135°C超～200°C以下 |
| T4 | 100°C超～135°C以下 |
| T5 | 85°C超～100°C以下 |